

市民のひろば



インタビュー（体育館で）

ロケット
藤本茂樹
(田村)



石油あれこれ

石油はどうしてできたか。正確なことはわからない。大抵のところでは、動植物が地中で幾百万年もの年月を経てきたらどううとされている。

日本で最初の記録は、日本書紀に天智天皇の時代に「越後より燃ゆる土と燃ゆる水を献す」とある。現在、日本は使用量の九、七割を輸入している。もし、輸入が全部とれたらどうなるか。思っても恐ろしいことが起るだろう。電気を起すに現在では水力四、火力六の割合だから、日本の大部分の工場は生産がとまる。テレビなどは全然見ることができなくなる。自動車も全部ストップする。バッテリーで走る自動車をつくれば良いということかもしれないが、そのバッテリーに充電する電気がつくれぬ。衣料品の

大部分が石油からつくられているので大変なことになる。

最近では、天然せんいが見直されて、綿の需要が世界的に増加しているが、その綿花の生産国が、次々と輸出禁止や輸出制限をはじめたので、日本も大弱りである。ビニール類は、すべて生産中止であるから園芸用のビニールも手に入らなくなるし、加温用の重油がないから市の園芸は全滅する。耕転機は一台も動かず、田を耕やすことができない。農耕用の牛など、動物園へ行っても探すがむつかしいので、食糧生産はがた落ちとなる。餓死するものが続出し暴動が起るかもしれない。

飛行機は一機も飛べなくなるから、飛行場問題など議論することすらできない。

漁船も出漁できないから魚は食

親子クイズ⑦

ご家庭で話し合っけて答えてください。答えは今月号の広報にのっています。

■もんだい

①ことし1月から10月までに発生した火災の総件数は〇〇件です。

②火事と救急車は〇〇〇番に電話してください。

③この〇〇月1日から、不燃物の収集日が全て変ることになりました。

■しめきり・12月15日(土)

■おくり先・〒783 南国市大塚、南国市役所内広報委員会、親子クイズ係。

■しょうひん・特賞2,000円、1人残念賞、記念品10人

★特賞に松木宏彰さん(片山)

第26回の正解者発表

■こたえ・①=②日、②=②①①③=②④日でした。

■特賞・2,000円、松木宏彰(片山)残念賞(記念品)・浜田恭史(十市)前田照恵(稲生)吉永美広(久枝)門田豊重(奈路)村上静(岡豊)山口ワキ(前浜)池添満子(田村)松下遊危(浜改田)島本久子(大塚)北村優子(永田)



国保税と国保税

他の保険をやめて国保にすぐ入らなかつた場合、他の保険をやめたときから税金をとられるのはどうしてでしょう。

高知市では入ったときから税金がかかるようですが、南国市のやうにしている国保税と高知市のやうにちがうのですか。

■お答えします。

健康な方は医者にみてもらうことは、まあ無だらうということ、国保税を怠るかも知れませんが、そうすると国民健康保険の趣旨は生かされないものです。

通常に保険税を取っている人との不公平を無くすることを考えて選んでいるわけです。

他の保険をやめて、国保に入る場合はすぐに市役所に届け出なければならぬことになっており、国民皆保険の精神からいっても健康で豊かな生活を送るためにも何かの健康保険に入っていないければならないわけです。

保険者といえども選んでも掛けるというものは、不本意ですので、そのことのないよう、すぐ届け出を行うようお願いいたします。

市民課長 田中隆夫

べることができなくなる。ビニール電線やビニール水道管がなくて建築屋さんが首を吊ったのはつい先日のことである。勿論これらの資材は一部も生産ができなくなる。

世界中の石油生産の約六割が中東である。ここで戦争がはじまったから大変なことだ。戦争とは、見方によっては気違いの行動であるから何をするかわからない。

この前の中東戦争、わずか六日で今でもスエズ運河は通れない。石油生産が止まらなと誰れが保証できよう。七十九日分の貯えの石油があると新聞にでているが、一日たてば一日減っている。

中東は、ギリストやマホメット

人情にふれる

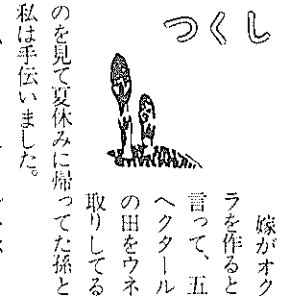
が生まれ、その考えは全世界を動かしてきた。また神の奇蹟が多くあつた。この地に世界を動かす石油があるのも不思議である。この石油は毒にもなれば薬にもなる。今

までいささか毒に使いすぎた感がある。神の非常手段により毒への使用を禁じられたと思えば考えもまた変わってくる。

ま南国旅館にご連絡くださったときは、本當にうれしく思いました。たまたま、十一月一日ふるさとの歌まつりをNHKで見、当時のことを思い浮べ、人情の厚さを目の当りに見、本當にありがたうございました。旅館の予約もなく夕刻の吹きぶりでした。

翌日は晴天で、龍河洞へ向いました。

小田原市 みの嶋房吉



嫁がオクラを作ると言つて、五ヘクタールの田をウネ取りしてのを見て夏休みに帰つてた孫と私は手伝いました。

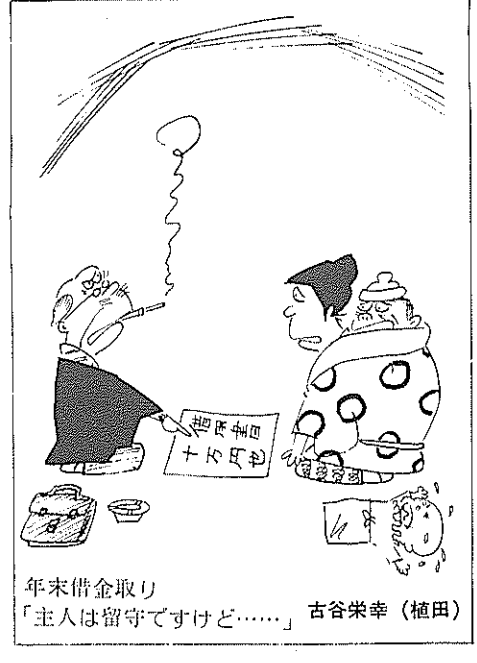
私はオクラ取りまで手伝うことは、夢にも思つていなかったが、出荷の季節となり、朝早くつみ取らねば作の出勤の朝食がおそくなるので嫁が気をもんでいるのを見て気が毒に思い、オ

オクラと私

クラの大小に気がねして取り始めた。葉にさわればハシカイ。オクラはだいにつみ取らねばならん。さわるにさわりたい。オクラは、朝はきれいな花が咲き、夕方には早くも実を結ぶ。ふとりの早いオクラがだいに、時たま出社前にオクラを出荷場へ持つて行く作がだいに、私自身がだいに、それともお金がいかに、さっぱり

有沢鈴衛(田村)

人権週間



年末借金取り「主人は留守ですけど……」古谷栄幸(植田)

十二月四日から十日までの一週間は人権週間です。

わが国の憲法は基本的人権について、思想や良心を持つ自由、宗教を信じ学問をする自由、職業や住居を選んだり移転したりする自由、さらには財産をもつ権利、教育を受ける権利、働く権利、政治活動に参加する権利などの自由と権利を保障しています。これこそ私たちが本當に幸福な生活を送るための道しるべです。

今年、健康と人権のテーマを取りあげ、経済的繁栄や科学技術の進歩にもかかわらず

十二月四日から十日までの一週間は人権週間です。この人権週間を機会に、私たちが身の回りでは人権を侵したり侵されたりしていないか見直してみよう。そして、これは人権問題でないだろうかと思つたり、法律上どのようなことになるかわからないで困つたときは、次の人権擁護委員の自宅、後免公民館、法務局とその支局をご利用ください。

人権擁護委員
島本直治(瓶岩) 山崎喜一(下末松) 佐竹安意(黒滝) 浜田弥芳(前浜) 岡本花美(瓶岩)